

# 作期分散による適期収穫で品質向上!!

消費者ニーズの高い多様な銘柄米を作付けしましょう!!

★ 現在、コシヒカリに作付けが集中しています。

それにより…

- ①適期作業に支障（刈り遅れによる胴割れなど）
- ②気象災害や病害虫のリスクが増加
- ③品質が不安定  
のデメリットが発生しています。



こしいぶき（早生品種）・直は栽培の導入を提案します!!

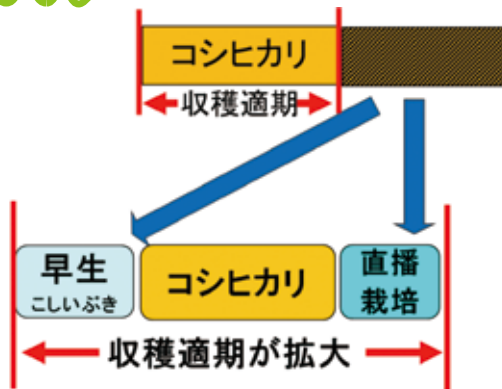
上記事項に対して…

- 1) 適期作業が可能（適期収穫）
- 2) 気象災害や病害虫のリスクが軽減

**!** 稲作全体の品質向上

作期分散による適期収穫のイメージ

	注意点	対応・支援等
早生品種	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンタミ防止対策（育苗、乾燥調製等）</li> <li>○コシヒカリとの価格差</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カントリーエレベータの利用推進</li> <li>○米の生産数量目標を別枠（特定銘柄）で配分（H26実施）</li> <li>○適期収穫による品質向上等</li> </ul>
直播栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>○移植栽培より収量が安定しない</li> <li>○播種機が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○直播栽培部会で定期的に研修等実施</li> <li>○栽培展示ほの設置</li> <li>○減収率に基づいて算出した米の生産数量目標を別枠配分（H26実施）</li> <li>○コストの低減（苗、コンバイン、乾燥機等）</li> <li>○作業委託</li> </ul>



主食用品種の作付けのメリット（こしいぶき・こがねもち等）

- 1) 作り慣れている。
- 2) 小規模農家も取組やすい。
- 3) 圃場・カントリーエレベーターなどでコンタミリスク（他品種等の混入）がない。
- 4) 施設（カントリー・ライスセンター）の活用が容易。
- 5) 区分管理の必要はない。
- 6) 次年度以降の用途転換が容易である。

- 平成28年度の水稲乾籾・温湯種子の予約注文は、お早めに。
- 水稲苗の変更期限は3月末までです。